



## 主な内容

- 平成28年度 情報公開の実施状況 ……2面
- 我孫子駅発着の臨時特急「踊り子号」 ……2面
- 日本女子オープンゴルフ選手権入場券販売、「檸檬のバーム」農林水産大臣賞を受賞! ……3面
- 熱中症を予防しましょう ……4面
- 夏休みの環境学習 ……5面

6月是我孫子市男女共同参画月間です。

GENDER EQUALITY  
2017. June



# 誰もがチャレンジできる社会に～ 私たちも、活躍します！

国は女性活躍推進法のもと、女性がさまざまな分野でチャレンジし、活躍できる環境整備を進めています。そうした中、これから就職する世代はどのように考えているのでしょうか。川村学園女子大学で女性を取り巻く社会環境について学ぶ1～4年生10人に、それぞれの思いを聞きました。

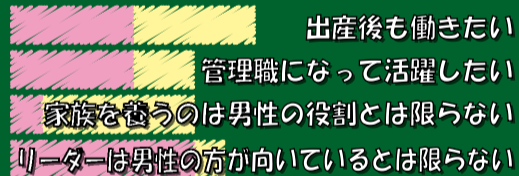
## 学生10人に聞きました ～就職について～

- 私たちもずっと、働きたい!
- 大学で得た資格を仕事で生かしたい。
- 生活の基盤を築き、安定した生活を送りたい。
- 家族を支えられる人になりたい。
- 家事だけではなく仕事もできる人になりたい。
- キャリアアップできる仕事を選び、活躍したい!
- でも、不安なこともあります。
- 女性だけが仕事と家庭の両立を強いられる気がする。
- 女性は、賃金が安い割に大変な仕事を担っている?

## 学生10人に聞きました

強く思う+少し思う

0 2 4 6 8 10人



山形香生莉さん(観光文化科4年)

私は、ブライダル産業で働きたいと考えています。結婚式の華やかな印象が強いのと思いますが、多様な人々の生き方をサポートできる職業です。就職後もさまざまな分野を経験し、将来は後輩の女性たちを支援する部門へとキャリアアップしたいです。

## 国の独身女性に対する調査でも…

- ①結婚後も働きたい⇒44.6%、
  - ②うち出産後も働きたい⇒65.1%
- 10年前は…
- ①⇒41.8%
  - ②⇒51.3%
- 結婚後も 出産後も  
働きたい人の  
割合が増えています。

厚生労働省：21世紀成年者縦断調査(平成27年11月実施)から

## キャリアプランを組み込んだ将来設計を

柚木理子さん(川村学園女子大学元教授)

男女で職域が分離していることが、男女間の賃金格差の一つの原因となり、今なお女性は十分に活躍できているとは言えない現状です。他方で仕事中心の男性の生き方も見直しが迫られています。今後は女性も男性も、性別にとらわれずに活躍しやすい社会づくりへの取り組みが、なお一層必要になってくるでしょう。学生のみならず、みなさんはこれをチャンスと捉えてください。キャリアプランについてもしっかりと踏み込んで考えた将来設計ができることを期待しています。



柚木理子さん…我孫子市男女共同参画審議会委員。現在は同大学非常勤講師としてドイツ語とジェンダー研究入門を教える。



## 6月議会会期日程変更のお知らせ

広報あびこ6月1日号に掲載した6月議会会期日程に変更がありました。6月21日(水)開催予定の予算審査特別委員会は、提出された議案の関係上、開催せずに、常任委員会で審査することとなりました。それに伴い、6月22日(木)開催予定の本会議(採決など、閉会)を6月21日(水)開催に変更します。  
議会事務局・内線242